

Go Beyond～今の自分を越えてゆけ！～

校長漫筆記

令和 8 年 4 月 17 日
姫路市立高校
校長通信 第 2 号
文責 平山智樹

一瞬の積み重ねが、歴史に変わる

令和 8 年度・9 年度、本校では 4 月 15 日を授業日としておりません。この日は、昭和 14 年（1939 年）に姫路市立鷺城中学校として産声を上げた「姫路高校」の開校記念日にあたります。



姫路高校は現在の 2 年生（80 期生）をもってその歴史に幕を閉じます。同様に、大正 2 年（1913 年）創立の琴丘高校、昭和 17 年（1942 年）創立の飾磨高校も、市民に深く愛されてきた長い歴史を持っています。

姫路市立高校は、これら 3 校が築き上げた情熱と誇りを「源流」として誕生しました。私たちは、先人たちが繋いできた伝統を礎に、地域から信頼され、応援される新しい学校の姿を模索していかなければなりません。

先日、1 年生の学年集会である担任がこう語りました。

「文化は長い伝統で作られると思うかもしれないが、そうではない。今、この一瞬の積み重ねから作り上げられていくものだ。姫路市立高校の文化は、君たち 1 期生に委ねられている」と。まさしく、その通りです。1 期生には、新しい歴史を切り拓く「開拓者」としての気概を持ってほしいと願っています。1 期生一人ひとりの一步一步が、そのままこの学校のそして未来の「伝統」に繋がっていくのです。

さて、そうすると「姫路市立高校の開校記念日はいつになるのか」という疑問を持つかもしれません。

記念日の設定は、設置認可の日や式典の日、あるいは統合の日など、その学校にとって「最も象徴的な日」が選ばれるのが一般的です。現時点では、本校の記念日はまだ設定されていません。今後、姫路市や教育委員会とも協議を重ね、この新しい学び舎にふさわしい日を設定していく予定です。

いつの日か決まる「その日」を、胸を張って祝えるような学校文化を、今ここから、生徒はもちろんのこと教職員も含めて、共に創り上げてまいります。